

「市民の声」を生かす！

神戸の未来

9月2日から10月10日まで9月議会（通称「決算議会」）が開かれ、令和6年度決算の審査が行われました。今回も市民の皆様からのお声を反映し、会派として代表質疑を行いました。震災の負債返済は着実に進み、久元市政後半からは投資的経費も増加しています。こうした市の現状を市民の皆様にご存知いただき、ともに神戸の未来をつくってまいります。

都市再生 三宮クロススクエア

Q 歩行者を優先とした都市の魅力向上に繋がる三宮クロススクエア構想に対する、渋滞や物流動線の懸念をどのように解消していき、事業を進めていくのか。

9月8日 本会議で坊議員が代表質疑

A 三宮クロススクエアは車中心から人中心の空間へ転換し、歩行者空間拡充と回遊性向上を図る計画です。**第1段階の三宮交差点東側の6車線化**は、2019年の実験や交差点改良を経て渋滞解消や事故減少など効果を確認しました。2029年度JR新駅ビル開業と同時完成を目指します。**第2段階の3車線化は、大阪湾岸道路西伸部の供用が前提なので時期は未定**です。社会情勢、交通動向を踏まえて必要な対策を行い、渋滞や物流への影響を十分検証し、自動車交通との調和を図りながら計画的、段階的に進めていきたい。

都心機能誘導地区における タワマンなどの大規模住宅規制

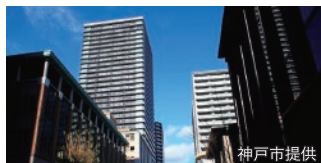
Q 三宮タワマン規制は、あえて都心のみ規制を行っている趣旨とマンション適正管理の課題とが混同されている。改めて狙いを明確に示すべきではないか。

9月8日 本会議で坊議員が代表質疑

A **都市機能誘導地区には高い容積率を指定**しており、居住機能が過度に増えると**商業・業務機能の低下や小学校過密化などのインフラ負荷が懸念**されます。そのため都心と郊外の役割分担を踏まえ、全市的にバランスあるまちづくりを進めることが重要です。今後も市民や各業界と対話をし、狙いを丁寧に発信していきます。



神戸市提供



神戸市提供

タワーマンションの 空室税検討に

Q タワマン空室税は賛否両論あるが、その検討目的を明確に示し、市民の誤解を招かないよう正確な情報発信が必要ではないか。

9月8日 本会議で坊議員が代表質疑

A **タワーマンションと地域社会の関わり**のあり方に関する有識者会議報告を踏まえ、空き部屋所有者への法定外税の可能性を専門的に検討するため、学識経験者による検討会が設置され、委員からは**賛否様々な意見**がありました。**空室利活用促進や建物適正管理促進の2つが可能性として**議論されています。今後は、まちづくりとの整合性や目的の明確化を進め、正確な情報発信に努めていきます。



坊 やすなが

松本 しゅうじ

うえはた のりひろ

代表質疑(3名)

令和7年9月8日(月) ※一部要旨

部活動の地域展開と 各家庭への経済的支援

Q KOBE◆KATSU 開始で中学生の環境は変化する。切れ目のない子育て支援として中学生がいる世帯への経済的支援を充実させるべきではないか。

9月8日 本会議で坊議員が代表質疑

A 高校生は授業料負担があり、通学の範囲も広く、通学費の補助などで支援を強化してきましたが、中学生世帯への負担軽減も重要と考えています。これまでに中学校全員喫食や給食費負担軽減、こども医療費の所得制限撤廃、学習支援事業の拡充などを進めてきました。今後、**中学生がいる子育て世帯のニーズを把握し、必要な支援**を議会からの指摘も踏まえ対応していきます。



積極的な投資と民間活力

Q 久元市政で財政は健全化された。持続可能な大都市経営になるよう、これまで以上に積極的な投資を行い、民間活力を呼び込む好循環を生み出すべきではないか。

9月8日 本会議で松本議員が代表質疑

A 都心・三宮再整備や駅前リノベーションなど**都市の魅力向上につながる投資を推進し、民間投資を呼び込むことで、経済拡大と市民所得向上の好循環を図ることが重要**です。近年、オフィス供給やホテル開業、住宅開発も進んで、民設民営のGLION ARENA KOBE開業では新たな賑わいも創出されています。投資的経費は令和7年度に23年ぶりに1,000億円を超え、今後も1,200～1,300億円規模で推移見込みで、財源確保と事業見直しを行いつつ必要な投資を継続します。



神戸市提供

人口減少下における 市の方針明確化と情報発信

Q 人口減少を甘受しているとの印象から不安や誤解がある。人口減少時代に立ち向かう市の方針を丁寧に発信し、市民の不安や誤解を防ぐべきではないか。

9月8日 本会議でうへはた議員が代表質疑

A **人口減少への対応として、減少幅を抑制しつつ、これまでにない発想の施策**が求められます。自然減対策として子育て支援や若年層の結婚支援を強化し、社会増には住む・学ぶ・働く環境の充実を図ります。国の施策を活用しながら市独自策も進めます。都市のスポンジ化に対しては、これまでにない住宅供給の新しい発想での施策展開が必要である。神戸市の基本方針が市民に十分、正確に伝わるよう情報発信をしていきます。





しらくに 高太郎

新たな住宅供給政策

Q 市長会見で「2030 年までに5万戸の新規住宅供給」を発表されましたが、今後の取り組みについて伺います。

A 住宅価格高騰や人口減少を踏まえ、**良質で手に入りやすい戸建て住宅の供給**が必要です。**郊外市有地の活用から始めて市営住宅再編余剰地の分譲**も進め、民間の力



も借り、ゆったりとした平屋や菜園付き住宅なども含めて多様な住宅を供給します。地域の魅力もPRし、好循環を生み出していきたいと考えています。

総括質疑 令和7年9月26日(金) ※一部要旨

人口減少社会における広域連携の推進

Q 人口減少社会において、限られた財源や人材で行政サービスを維持するためには広域連携が重要です。現時点で必要な分野と今後の進め方について伺います。

A **インフラ施設の共同利用*、技術職やデジタル人材の確保・育成**、神戸空港国際化を契機とした**観光資源の共有**などが考えられます。近隣市との協議会等を通じて情報交換を行い、神戸がリーダーシップを発揮して推進します。



神戸市提供

*三田市と消防司令事務の共同運用、芦屋市の可燃ごみ受け入れ合意、淡路島3市との連携協定締結が既に取り組まれています。

健康都市としてのブランド醸成

Q 予防の観点で研究成果・エビデンスに基づく健康づくりプログラムの構築や、ブランディングしている坂を健康づくりにも活用してはどうか伺います。

A **ヘルスケアデータ連携システムを活用**し、研究と連携した健康づくりを進めています。地域ごとの特徴を踏まえた取り組みも実施しています。また、**坂愛好家のウォーキングイベント**なども出てきました。今後もデータに基づき、坂も活用しながら市民の主体的な健康づくりと地域活性化を図ってまいります。



その他の質疑項目 ●性別に関わらずチャレンジできる社会の実現 ●若者に選ばれる企業誘致 ●農業振興のための市による効果的な支援 他

令和6年度 神戸市の決算

決算総額：1兆9,271億9,400万円
実質収支：14億1,100万円(黒字)

一般会計 9,306億5,900万円

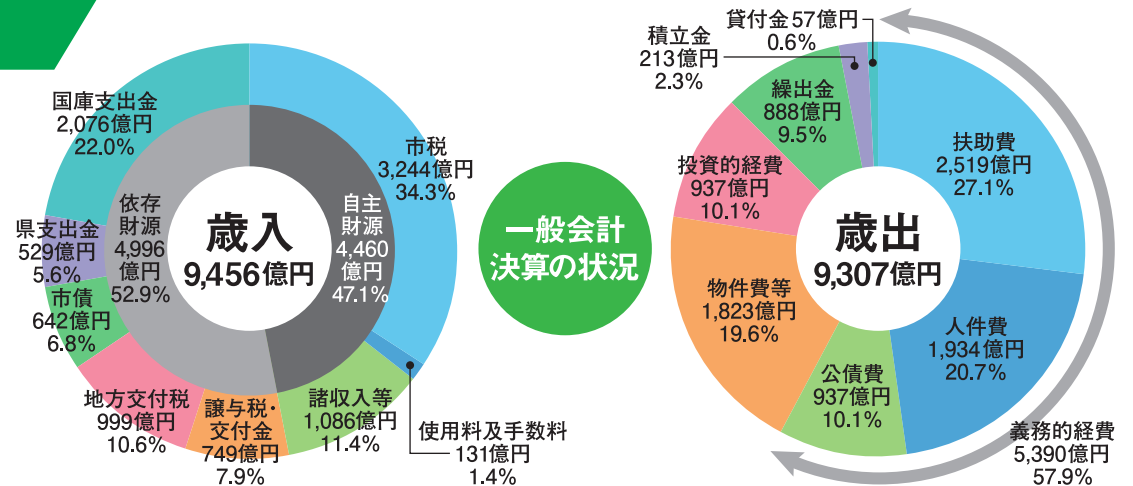
福祉、教育、道路・公園の整備など、市の基本的な事業を行う会計です。

特別会計 6,748億4,900万円

国民健康保険や介護保険、市営住宅など、特定の収入で行う事業の会計です。

企業会計 3,216億8,500万円

バスや地下鉄、上下水道など、主に利用者のみなさんが支払う料金収入等で行う事業の会計です。



令和6年度会計決算ならびに関連議案について意見表明を行いました

令和6年度は社会保障関係費や投資的経費が増加したが、税収増と行財政改革推進で黒字を確保し評価します。今後の厳しい財政下でも投資的経費を維持し、交流人口・関係人口の拡大や民間投資促進を図る必要があります。行財政改革方針2025の着実な推進と経済成長施策の推進を期待して、令和6年度各会計決算及び関連議案合計23件を要望16件を付して、認定並びに承認します。

要望事項(抜粋)

- KOBE◆KATSUがこどもたちにとって有意義な体験の機会となるよう、教育的意義や教育委員会の責任を明確にしつつ、経済的な課題など、こどもや保護者の不安を払拭するよう取り組むこと。
- 若者の市内企業就職を促進するため、市内企業でのインターンシップの推進や選ばれる企業になるための支援、人気のあるリーディングカンパニーの誘致などを通じて若年層の市内定着を促すこと。
- タワーマン・シオンへの法定外税については、検討会や市会の意見も踏まえ丁寧に議論を進めること。
- 障がい者雇用については、本市をはじめ市内事業者が法定雇用率を満たせるよう引き続き積極的に取り組むとともに、超短時間雇用についても推進すること。
- 二次救急体制を維持するため、運営補助金を増額すること。
- 児童養護施設等退所者や、親族等に相談・支援を受けられない児童などの実態把握に努めるとともに、ニーズや実態に見合った支援策を講じること。
- 学校給食に地元のオーガニック食材を段階的に導入し、有機農業の意義を教える食育を推進すること。他9件。

本紙掲載内容や市政へのご意見・ご相談はお住いの区の所属議員へお問い合わせ下さい。

東灘区

幹事・広報
うへはた のりひろ
tel.050-3573-1204
fax.078-330-0239
uehata.kobe@gmail.com

副政調会長
大野 陽平
tel.078-851-6996
fax.078-854-2300
yoheiohno11@gmail.com

灘区

政調会長
吉田 健吾
tel.078-861-5566
fax.078-861-3456
gogo@yoshidakengo.jp

副政調会長
浅井 美佳
tel.080-5818-4408
asaimika.kobe@gmail.com

中央区

幹事長
河内 たかかず
tel.078-806-8633
fax.078-806-8653
kobe.kawanami@gmail.com

兵庫区

副幹事長
平野 達司
tel.078-531-8780
fax.078-531-5301
th.tatsuji.hirano@gmail.com

村上 立真
tel.078-599-7760
fax.078-336-3572
murakami.tatsuma@gmail.com

北区

相談役
坊 やすなが
tel.078-983-1711
fax.078-983-1719
yasunaga.bo@gmail.com

植中 雅子
tel.078-583-8060
fax.078-583-4696
uenakamasako8060@blue.ocn.ne.jp

長田区

団長
平井 真千子
tel/fax.
078-643-0647
machiko.h@earth.ocn.ne.jp

須磨区

松本 しゅうじ
tel.078-795-9069
fax.078-795-9090
matsujimin3@gmail.com

垂水区

副幹事長
しらくに 高太郎
tel.078-704-6060
fax.078-709-5252
info@shirakuni.net

西区

坊池 正
tel.078-965-0400
bouike@nifty.com

幹事・会計
山口 由美
tel/fax.
078-777-6933
yamaguchi@yumiguma.com

山下 てんせい
tel.080-5341-3710
fax.078-961-3849
(URL) https://yamashita-tensei.com